

問 役場職員の自治会参加について

答 今年度末をめどに協議を進める



光風会 照沼 昇 議員

議員 現在の自治会制度は、30の単
位自治会とそれを取りまとめる6学
区自治会があり、さらにそれを集約
する自治会連合会の3段階構成となっ
ている。当然のことだが、意思決定
機関はシンプルなほど良く、東海村
の自治会制度の3段階もしくは4段
目の頂点には役場（行政）が鎮座す
ることが望ましいのは言を俟たない
でしょう。

そのためには、自治会役員が役場
職員にはなれないので、役場職員は
自治会に加入すべきだと考えてい
る。この意見に対しては、肯定的な
回答は頂くが、検討される様子が一
い。

目指すべき自治会制度の目標（最
終形及び完成形）が不明瞭ではトラ
ブルの原因となる。ぜひ、東海村の

自治会制度の目指すべき方向性に
ついて、庁内での意見調整をお願いす
る。

総合政策部長 村では今年度末をめ
どに「東海村協働の指針」を策定す
ることになっており、その中での
テーマの一つとして協議を進めてい
く。



東海村役場 自治推進課

問 村内における新たな公共交通手段
の検討は

答 新たな公共交通についてオール東
海で検討



新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 村内では福祉交通の運行が行
われているが、車を持たない多くの
高齢者、児童、学生などの通勤や通
学、商業の活性化に繋がる公共交通
手段等についてどのように検討され
ているのか。毎年、高齢化が進み免
許証を返還した高齢者人口も増えて
いる状況で、まちづくり政策も新た
な段階に入ってきていると思われる
。小美玉市は、循環バスの民間委
託運行を開始し、五霞町も試験的運
行を開始。人にやさしいまちづくり、
都市計画と合わせて、村としての全
体計画の中で多くの住民の声を聴き
「新たな公共交通手段」について真
剣に議論を進めていく時期ではない
かと考える。

総合政策部長 新たに公共交通の検
討に特化した委員会を立ち上げ、現

状分析評価を行い、東海村らしい対
策等についてオール東海での検討を
予定している。

村長 課題の整理ばかりでなく、で
きるところからやっつけていかなければ
ならない。目に見えた形になるよう
に進めていきたい。



県内市町で始まる新たな公共交通